

高齢ドライバーの免許返納問題って？

ニュース



⑥ 完

転する？ 高齢ドライバーによる交通事故が、新聞やテレビで大きく報道されているよね。宮城県内の状況を調べたよ。

みんなのおじいちゃんやおばあちゃんは車を運転する？ 高齢ドライバーの事故は、年を取り運転に必要な



乗用車が暴走し、母子2人が死亡した事故の現場
11月4日、東京都豊島区

生活の足 確保に不安も

な体の機能が衰えることが原因の一つとされています。4月には東京・池袋で87歳の男性の乗用車が横断歩道に突っ込み、母子2人死亡、8人負傷という痛ましい事故が起きました。運転操作ミスとみられ、高齢ドライバーの事故防止が全国的な課題とされました。



宮城県警交通企画課によると、県内の8月末時点の65歳以上のドライバーによる事故発生件数は845件。去年の同じ時期と比べ91件少なく、県警が行う高齢者向け交通安全教育の成果が出ているのかもしれない。



8月末時点の自主返納件数は、去年の同じ時期に比べて約1000件多い4607件。希望する自主返納者には、公的な身分証明書となる運転経歴証明書が出されます。ただ、県内には車がないと不便な地域が少なくありません。仙台市青葉区の郊外に住む主婦(74)は「子どもにも運転をやめようと言われるが、運転をやめたらバスや電車を乗り継ぐしかない。買い物も大変になるし、離れて暮らす孫の世話にも行けない」と訴えます。

70歳以上のドライバーは免許更新時に高齢者講習を、75歳以上は記憶力や判断力を調べる検査を受けなくてはなりません。問題があれば医師の診断を受け、認知症と診断されると免許取り消しや停止となります。自分から免許を返す高齢者も増えています。県警運転免許課によると、

「運転が老化防止に役立つ」と言う高齢者もいて、免許返納は一筋縄ではいきません。事故を防ぐ機能のある自動車の開発や免許返納後の家族の支援、新たな交通手段の確保など幅広い対策が求められます。

東北は生活に車が欠かせない地域ばかり。人ごとではないだけに、みんなも一度考えてみて。

東北は生活に車が欠かせない地域ばかり。人ごとではないだけに、みんなも一度考えてみて。

今週の注目ニュース

◇22日(火) 即位礼正殿の儀(東京)
天皇陛下が国内や海外の代表を皇居に招き、即位を宣言します。儀式が終わると皇后さまとオープンカーに乗り、赤坂御所まで約4.6キロを30分ほどかけてパレードするよ。

◇23日(水) NBAウィザーズの開幕戦(アメリカ・ダラス)

アメリカのプロバスケットボールNBAで、日本人初のドラフト1巡目指名を受け、ウィザーズに入った八村塁選手(宮城・明成高出)のデビュー戦だよ。

きょうの紙面

2

ギモンにこたえるモン

3

3分チャレンジ

4・5

いいね 小学校

6

英語

7

かほくワークシート

8

投稿特集